

改行可能エリア

MMLトラックの定義、ドライバマクロの定義、コンパイラマクロの定義を行う際、「{ ~ }」（波カッコ）で括られた範囲は、改行しても一つの処理単位とみなします。

次の三つの MML は全て同じ演奏を指示しています。

[例 1]

```
ABC v13 o4 q6 l8 ccddeeff erdrc4.r
```

[例 2]

```
ABC { v13 o4 q6 l8
      ccddeeff
      erdrc4.r
}
```

[例 3]

```
$macro1 {
      v13 o4 q6 l8
      ccddeeff erdrc4.r
}
ABC $macro1
```

■記法の問題

現在は「}」の後、改行せずに MML を記述しても有効となってしまいますので、下記の例はすべて同等の演奏結果となります。下記の例 3 や例 4 のような記述は推奨しません。現バージョンではコンパイルできますが、今後、エラーとなる恐れがあります。

[例 1] 正しい記法

```
A {
  cdef
  gab>c
}
```

[例 2] 正しい記法

```
A {cdef
  gab>c}
```

[例 3] 誤った記法

```
A {cdef
  }gab>c
```

[例 4] 誤った記法

```
A {cdef}gab>c
```